

形式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄
基本情報	対象疾患	有棘細胞癌
	タイプ	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Sentinel Node Biopsy for Cutaneous Squamous Cell Carcinomas at Fujita Health University Hospital
	論文の日本語タイトル	当院における有棘細胞癌に対する sentinel node biopsy の検討
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)
	ガイドライン上での目次名称	SCCCQ6-6
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）
	Pubmed ID	
	医中誌 ID	
	雑誌名	日皮会誌
	雑誌 ID	
	巻	116
	号	3
	ページ	325-329
	ISSN ナンバー	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)
著者情報	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)
	発行年月	2006
		氏名 所属機関
	筆頭著者	八代 浩 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学講座
	その他著者 1	河合成海
	その他著者 2	山北高志
	その他著者 3	秦 直子
	その他著者 4	香西伸彦
	その他著者 5	有馬 豪
	その他著者 6	牧浦伸彦
	その他著者 7	松永佳代子
	その他著者 8	
	その他著者 9	
	その他著者 10	

一次研究の8項目	目的	有棘細胞癌に対するセンチネルリンパ節生検の適応の検討
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究
	セッティング	1 大学病院
	対象者	High risk squamous cell carcinoma 9 例
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（3）
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（3）
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（14）
	介入（要因曝露）	センチネルリンパ節生検
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント 区分
	1	同定率 1.主要 2.副次 3.その他（1）
	2	個数 1.主要 2.副次 3.その他（1）
	3	無病期間 1.主要 2.副次 3.その他（2）
	4	1.主要 2.副次 3.その他（）
	5	1.主要 2.副次 3.その他（）
	6	1.主要 2.副次 3.その他（）
	7	1.主要 2.副次 3.その他（）
	8	1.主要 2.副次 3.その他（）
	9	1.主要 2.副次 3.その他（）
	10	1.主要 2.副次 3.その他（）
	主な結果	症例数は9例。全例でセンチネルリンパ節の同定に成功した。センチネルリンパ節の平均個数は2.6個。センチネルリンパ節に転移のみられた症例は1例であった。この1例は根治的郭清を加え、センチネルリンパ節以外のリンパ節に転移のないことを確認した。センチネルリンパ節転移のなかつた8例については所属リンパ節郭清を行っていないため、センチネルリンパ節以外のリンパ節の転移の有無は不明である。経過観察期間は1か月から31か月、平均15.8か月で、1例が他病死したが残りの8例は、再発、転移なく経過した。
	結論	今後大規模研究によってセンチネルリンパ節生検の適応症例の決定法を含めたハイリスク有棘細胞癌の治療ガイドラインの作成が必要である。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	山崎直也

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） わが国における有棘細胞癌に対するセンチネルリンパ節生検の経験を述べた報告は散見されるが本論文が最もまとまっている印象をうける。少数例で症例集積研究ともいえるが、比較的まとまった症例数を長期観察した貴重なデータであり、後ろ向きコホート研究に準ずるものと評価した。
--	------------	---